

【ねがいましては】

平成12年8月25日

第127号

KYOWA SCHOOL

「心の根っこ」

毎年のキャンプ、今年もたくさんの感動を残して、思い出を残して終わることができました。今年ほど4泊5日が短く感じられたことはないと思います。

やさしい気持ちで、子供たちの風景を思う存分眺めることができました。私ばかり、こんなに心が満たされていいのだろうか、ご父母の皆様には申し訳なく思っております。

食事をする、遊ぶ、掃除をする、自分の身の回りの整理をする、洗面をする、排泄をする。そのどれもが、自分たちの意志を中心に行なわれる。誰に命令をされるわけではない世界、その中で、同じ部屋のメンバーと共存する。もちろん色々な気持ちのぶつかり合いがあるわけですが、結局は、それぞれが、共存の道を余儀なく選択させられるわけですし、自分の意志が通らないからと言って、そのまま「うつ」なままでいても仕方がないということに気がつき、そこからまた「笑み」がこぼれ始める。その自然な成り行きに、私は、子供たちの持っている「たくましさ」に、拍手を贈りたいと思います。

今回で2回目の小学2年の「M」君、夕食の準備で、皆が流し場で包丁をたたく中、彼は一人、流しの端にある、排水溝のゴミ取りかごを取って、その中のごみを、燃えるごみの大バケツの中に「コンコン」捨てています。おそらく誰もが一番やりたくない「クサイ」仕事だと思うのですが、黙々と行なう彼を見、「ジーン」ときました。彼らの部屋には、今晚のデザートなのでしょう、メロンが2個置いてあります。ある日は、「ぶどう」であったり、毎食後のデザートが、男の子の部屋ではあったようです。

毎日のように、子供たちの純手製、レシピなしの料理が、倉庫兼、本部兼、私のバンガローに運ばれてきます。生パン粉を使っていない「ハンバーグ」。スーパーで、マグロの刺身とイクラをかごに入れて、何を作るのかと思ったら、「チラシ寿司」だったり、(差し入れありがとう！美味しかったです。いい奥さんになれますよ！)

高校3年生から、小学2年生までが入り混じっての「ドッジボール」、思いきりぶつけるのではなく、両手で、そっと女の子にぶつける「R」君、君のやさしさが手にとるようにわかります。

寝不足で、疲れているのにもかかわらず、心から楽しんでいる中3の「J」ちゃん。

私は思います。こんな光景、きっとどこにもないんじゃないかなって・・・

私が言い出したわけではない「ドッジボール」、彼らだけで、彼らだけのルールで行なわれる「遊び」に、「感動」はしっかり宿っていました。

中学生の男の子が、高校生の肩に飛びついたり、小2の男の子と、中学生の女の子が、一緒に写真に写ったり、年齢・学年撤廃の社会が、賑やかに、慎ましくそこにはありました。

「ルール」なし、ルールは、しっかり子供たちの中に出来上がっています。私はただ、見つめるだけ・・・

ぜひぜひ、ご父母の皆さんにも、陰でそっとその光景をご覧になっていただきたいと、強く思いました。また、今後のことですが、キャンプ期間中に、ご家族の方々が突然キャンプ場に訪問され、子供たちの作った夕食を召され、そしてキャンプ場を後にする。というようなこともあってもいいかなと思います。「子」にとっての「家族」、「親」にとっての「家族」というものを、真剣に見つめることのできる、「真の勉強」がそこにはあるものと思います。

今回、お子さん全員が「キャンプ」に参加され、5日間寂しい思いをされたお父さん、お母さんもうらっしゃったと思います。また逆に、平和な生活を送られた方もいらっしゃるかもしれません。

家族の中で、ある期間距離を置いた生活をする。これは、とても大きな意味があると思います。

離れた生活から、子は親を、親は子を見つめなおすことができるからです。

日々流れる子供たちの犯罪のニュース、現代社会では、その原因に大きな変化があると、どこかの局で放送していました。彼らの中にいったい何が起きているのか。パンパンになってしまった彼らの心は、小さなハリひとつで、「パンッ」。

そのようなことは、キャンプでは考えられません。みんなが見せてくれる、生き生きとした表情が教えてくれます。彼らは「やさしさ・おもいやり」のかたまりさんたちです。別に私がそう仕向けたわけではないし、きっと他の子供達もみんな同じはずです。

ここでずっと暮らしたいなー・・・と言っている子もいました。私もそう思いました。きっと、勉強だって楽しくできるだろうし・・・なぜなら、私だったら必ず「〇〇ちゃん、△△ちゃんの勉強、見てあげて！」と、頼んでしまうと思うからです。これは、この教室でも実践しています。大きな子は小さい子にしっかり理解してもらいたいのが故、その単元に真剣に取り組むだろうし、小さい子は大きい子へのお礼に、食事の時など、お手伝いを進んでやるだろうし・・・

なぜ勉強しなければならないか・・・という問題がここでは解決されます。

そのような「心の根っこ」を育むことができれば・・・と思います。

私はふと思います。来年、「おかあさん・おとうさん突然こんにちは！夕食食べてさようなら！」シリーズと、「みんなでやろう本当の勉強！」シリーズ（助け合い勉強）

この2つを実践してみたいなと思います。そして、その光景を、陰でそっと見つめていたいと思います。今年のように、またまた美しい光景が目に見えます。お母さん・お父さんにも、ぜひご覧いただきたい光景です。我が子のおもいやりとやさしさに包まれた姿をご覧いただきたいと思います。きっと全身があたたかくなると思います。

私たち大人が、しっかりと実践しなければならない「真の生活」が、今回のキャンプでは見られたように思います。

勉強に取り組む子を、やさしく後ろから見守る先輩の顔・・・

「〇〇ちゃん、皮むきを持ってくるかな」「ハイ」・・・

「□□ねえちゃん！きょう算数教えてくれてありがと。お礼に肩たたいてあげるね！」

「うん、ありがとう！」「〇〇ちゃんやさしいね！」

手にとるように思い浮かぶ光景です。

今回のキャンプに協力いただいた、船山さん（コピー機のメンテナンス屋さん）、私が風下にいるだけで、たばこの煙に気を使い、そっと席をはずすおもいやり、ありがとうございます。ひろたけさん、毎年必ずこの期間は会社をお休みしていただき、ありがとうございます。

39度の発熱をした子に、おかゆを作って看病してくれた美緒ちゃん、ありがとうございます。

樹里ちゃん・由香里ちゃん、あなたがたの思いやりには言葉がありません・・・

そして、何よりもこのキャンプで出会うことのできた皆さん、このキャンプに費用を捻出いただいたご父母の皆様に深くお礼を申し上げます。

奇跡に近い、60億分の1の出会いに、深く深くお礼申し上げます。ありがとうございました。

♪ 9月の予定

9月 1日（金） 新学期・・・時間割が元に戻ります

8日（金） 検定試験申し込み締め切り

21日（木）～22日（金） 検定試験本番・・・KYOWA SCHOOL

23日（土） 品川水族館 ミニミニ見学 詳しくはお手紙で・・・

お知らせ・・・9月より、珠算科が、週1日・週2日・週3日のいずれかで学習できまーす。

詳しくは、別紙で・・・